

【全国発信記事】 鹿児島支部

-鹿児島地区対話集会を開催- 海員春闘 & 意見交換

地区の組合員と意見交換

3月14日、鹿児島支部において、新型コロナウイルス感染症への感染予防を徹底した上で、全国委員を含む組合員5人が参加しての地区対話集会を開催した。

対話集会の開催にあたり、二神健太鹿児島支部次長から「新型コロナウイルス感染症の影響により、船員を取り巻く環境は厳しい状況下にあるが、組合員と一丸となって、この難局を乗り越えて行かなければならない。本日は、組合員各位の忌憚のない意見を願いたい」とあいさつした。

続いて令和4年度の中央における労働協約改定交渉と、鹿児島支部が担当し交渉する個別各社の労働協約改定交渉の進捗について説明を行い、意見交換を行った。

各組合員からは、

▽新型コロナウイルス感染症防止への各社の取り組みや発生状況について

▽日本カーフェリー労務協会との定年年齢延長に関する継続協議の進捗について

▽船内設備の改善について

一などの意見・質問があり、執行部から丁寧に説明し理解を深めた。

最後に、海員春闘の早期円満解決に向け、組合員と執行部が一致団結して交渉に臨んでいくことを確認し、鹿児島地区対話集会を閉会した。

「海員だより」